

藤田 克美

市民の声

### 公共交通施策

【問】2カ月で元気・交流200円バス事業乗車証の交付を受けた65歳以上の高齢者は何人か。また、デマンド型（予約制）乗り合いタクシの実証実験の利用状況は。

【答】元気・交流200円バス事業の乗車証の交付状況は、11月末現在2,071人で、二ツ井地域のシルバーパス券の交付者777人と合わせ2,848人である。またデマンド型乗り合いタクシー実証実験の利用状況は11月末現在、累計で東雲地区34人、檜山西部地区26人、富田・外面地区23人、濁川地区3人である。

### 林業の振興

【問】森林・林業についての市の認識は。また、林業振興策の現在までと今後について。また、生産コスト削減を図るための、葉枯らし材の実証試験の結果は。

【答】民有林の約8割が利用適期にあるが、路網整備や機械化のおくれ等により林業は厳しい状況にあるものの、豊富な資源を生かし、生産基盤の整備とあわせ、森林資源供給基地を目指し振興策を推進している。自然乾燥の葉枯らし材は、乾燥に時間は要するが、人工乾燥と比べ色艶がよく、割れも少ない結果が出ている。

その他の質問事項

○生活排水処理

菊地 時子

日本共産党

### 市公共交通戦略に基づく事業

【問】向能代・落合地区の巡回バスの運行に向けて自治会アンケートが実施された。来年10月の試験運行開始を目指した実証実験までのスケジュールは。

【答】23自治会1,930世帯を対象に行ったアンケートの結果集計と分析を行った上で、地域説明会で運行素案への意見・要望を伺い、運行案を策定する。その後、地域公共交通会議の審議を経て、運行事業者の公募・決定及び運行許可申請等を行い、25年10月の実証運行を目指したい。

### 住宅政策

【問】経済が低迷する中、「少子高齢化」といった世帯構造の変化でさまざまな問題が露出している。空き家の増加による限界集落の進行は深刻だ。空き家活用に公的援助を。

【答】現時点で市営住宅戸数が需要に対し特に不足している状況ではないため、公的家賃補助制度を検討する段階にはないと考える。全国の事例の中には定住促進や子育て支援の一環として民間賃貸住宅に居住している世帯に家賃を補助しているケースもあり、今後、市営住宅の計画見直しの際に研究すべき課題と考えている。

その他の質問事項

○公的な家賃補助制度の創設を

○住宅リフォーム緊急支援事業継続

○学童保育（留守家庭児童会）

渡辺 優子

公明党

### リース方式によるLED照明の導入

【問】LED照明の導入をリース方式にすると初期費用が抑制され、市の財政負担も軽減、節電とコストダウンを同時に実現できる。本市でもリース方式による導入をすすべき。

【答】設置数の多い街灯については、取りかえが必要なのはLED照明へ移行していきたい。一般的にリース方式は、初期費用はかからないものの、リース料金に付随費用等が含まれるため、トータルコストは割高となる。先進事例や財政状況等を勘案しながら、今後のLED照明の導入の方向性について検討したい。

### がん教育

【問】国のがん対策の新基本計画に「がん教育」が盛り込まれた。本市でも子どもたちが命の大切さを学ぶ「生きるの教室」を開催するとともに、「がん教育」を推進するべき。

【答】「生きるの教室」については、全中学校に当該授業のDVDを配布した。また東中ブロック4校で生命尊重を中心とした、いのちの教育あったかエリア事業を実施した。今後も家庭や地域と連携しながら命の教育を進めていく。今年度制定予定の（仮称）能代市健康推進条例に基づいたがんに関する教育を検討したい。

その他の質問事項

○シニア世代の地域デビュー

○文化施設の活性化